

経済産業大臣賞

「東京女子医科大学・早稲田大学連携先端生命医科学研究教育施設(TWIns)」等における医工連携を担う人材育成拠点の形成

<受賞者>

- 東京女子医科大学 先端生命医科学研究所
- 早稲田大学 先端生命医科学センター

<功績>

東京女子医科大学先端生命医科学研究所は、世界に先駆け、医学・工学・薬学・企業の研究者が同一施設内で集学的研究開発および人材育成（バイオメディカル・カリキュラム）を展開し得る体制を整備した。また、同研究所および早稲田大学先端生命医科学センターは、「東京女子医科大学・早稲田大学連携先端生命医科学研究教育施設（TWIns）」を開設し、国内外の医工連携等を実施できる体制を整備した。これらの取組により、日本の医薬・医療機器産業の発展に多大な貢献を果たした。

<概要>

東京女子医科大学先端生命医科学研究所は、医薬・医療機器産業の発展のために医工連携の重要性をいち早く認識し、1969年に世界に先駆けて医薬・医療機器産業技術者のための系統的医学教育を目的とした「バイオメディカル・カリキュラム」を開講した。これまでに受講者は約2,000名に達しており、医薬・医療機器業界の第一線で活躍する人材を多数輩出している。

また、同研究所および早稲田大学先端生命医科学センターは、2008年に「東京女子医科大学・早稲田大学連携先端生命医科学研究教育施設（TWIns）」を開設し、国内外の医工連携、国際連携を実施できる体制を整備するなど、時代のニーズをふまえた新しい医薬・医療機器産業の創出に向けて、さらなる進化を続けている。

<参考>

東京女子医科大学 先端生命医科学研究所

先端医療の教育研究、さらに関連するプロジェクトの拠点になります。セルプロセッシングセンター（GMP対応、臨床研究用）、小動物・大動物実験施設、オープンMRI装備大動物用インテリジェント手術室、分子生物学実験室、生化学実験室、化学合成実験室

メディカル・イノベーション・ラボ

共同連携企業との産学連携促進します。



東京女子医科大学・早稲田大学連携
先端生命医科学研究教育施設(TWIns)
総床面積 20,036m² (2008年4月開設)

早稲田大学 先端生命医科学センター

理工学術院、教育・総合科学学術院を中心に生命科学系の研究室が集結し、先端医療医工学および生命科学の教育、研究を行っています。

共同スペース —医学と工学の融合拠点—

組織培養や動物実験など、東京女子医科大学、早稲田大学による医療・理工学融合研究推進の場として両大学が協力して新分野の研究を推進します。